

防災教育支援モデル地域事業

【防災教育開発機構】

事業代表団体：防災教育開発機構（兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸学院大学、兵庫県立舞子高等学校、人と防災未来センター）
 事業協力機関：気象庁神戸海洋気象台、兵庫県防災企画局、神戸市危機管理室、神戸市消防局 + 防災教育開発機構を構成する5機関

事業の流れ	①科学技術関連教材等の作成	②教職員研修プログラム開発	③実践的教育プログラム開発	④地域での先進的な取組実施
1995.1.17 地域の豊富な蓄積	○「防災教育開発機構」構成機関による先進的取組	○防災教育推進指導員養成講座、EARTH訓練・研修会	○「防災教育開発機構」構成機関による先進的取組	○「明日に生きる」「しあわせはこぼろ」等の貴重な教材 ○人と防災未来センターの語り部
【平成20年度】 整理・分類 試行的開発	○「防災教育開発機構」による独自の整理・分類 ○防災科学技術等に関する知見の導入 ・人と防災未来センター ・気象庁神戸海洋気象台 ・神戸市消防局 ○研究機関、公益企業、地元団体、NPO等との連携	○上記2研修の検証・評価 ○全国他地域との交流（上記2研修への参加呼びかけ、EARTH員の講師派遣） ○神戸市一斉防災教育担当者研修会の拡大開催、課題整理 ○神戸市消防局の支援で児童・教職員・保護者の合同研修 ○神戸市9小学校をモデル校とした実践	○「防災教育開発機構」による選別、発達段階別分類 ○防災教育推進指導員養成講座、EARTH訓練・研修会で、教育プログラム開発自体を課題とした研修 ○神戸市9小学校をモデル校とし、神戸市消防局等の支援による先行的実践 ○教育実践を通じ若者・子ども達をつなぐ実験	○上記教材（地域の財産）を独自の視点で収集・整理 ○若者語り部活動の開始、成果のDVD教材化 ○行政、市民、研究者、学校関係者等による地域内の人材ネットワークの確立
【平成21年度】 検証・評価 完成 地域を越えて普及 2010.1.17	○前年度に試行的に開発した教材を活用して教育の実践を行い、改訂 ○国内に広く普及可能な教材の提案	○前年度の成果を反映させた教職員研修プログラムの試行・検証・評価、教職員研修プログラム開発 ○兵庫県・神戸市実施研修の互いの良さと課題の検証 ○全国研修・民間企業研修も参考にプログラム再構築、必ずしも積極的な取組ができていない地域に対応した段階的プログラムも開発	○兵庫県内10校程度をモデル校とした実践・検証・評価、防災教育カリキュラム開発 ○5月に中間成果とりまとめ ○外部意見も取入れ検証・評価した成果を神戸市内普及 ○開発したプログラムを若者が検証・普及する実験	○上記教材（地域の財産）を素材にした優れた実践の集大成を地域外に発信 ○若者語り部活動成果によるDVD教材の全国普及 ○ウェブサイトで情報発信し全国的にネットワーク拡大